

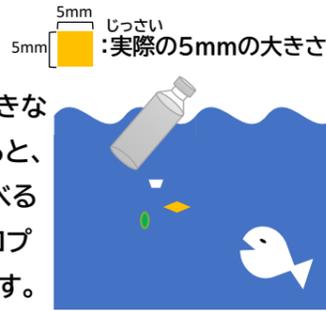


みんなで「マイクロプラスチック」について考えよう！

山梨県森林環境部環境整備課計画担当

1. マイクロプラスチックって何？

マイクロプラスチックとは、5mm未満の小さなプラスチックのことをいいます。もともと小さく作られたものもありますが、ペットボトルやビニール袋のような大きなプラスチックが、紫外線や波で砕けて小さくなったものもあります。川や海に流れると、魚やカメなどが食べてしまい、生き物に影響を与えます。人も魚を食べることで、知らないうちに体に取り入れてしまうかもしれません。このように、マイクロプラスチックは生態系や私たちの健康に関わる問題として、世界中で注目されています。



2. マイクロプラスチックの調査地点

「調べた河川(調査地点)」

山梨県では、令和元年度から県内を流れる河川の水の中にマイクロプラスチックがどれくらい含まれているかを調べています。近年(令和4年~6年)の調査結果では、2mm以下のものが多く含まれており、全体の約60~80%ということが分かりました。

今年度(令和7年度)は、新規調査地点で調査を行い、県の境目でも調査を行いました。

山梨県には海がありませんが、川を通してマイクロプラスチックは隣の東京都・神奈川県・静岡県や海(東京湾・相模湾・駿河湾)に流れていきます。県境で調査をすることで、山梨県に流れ込むマイクロプラスチックや、山梨県から流れ出るマイクロプラスチックの様子が分かります。

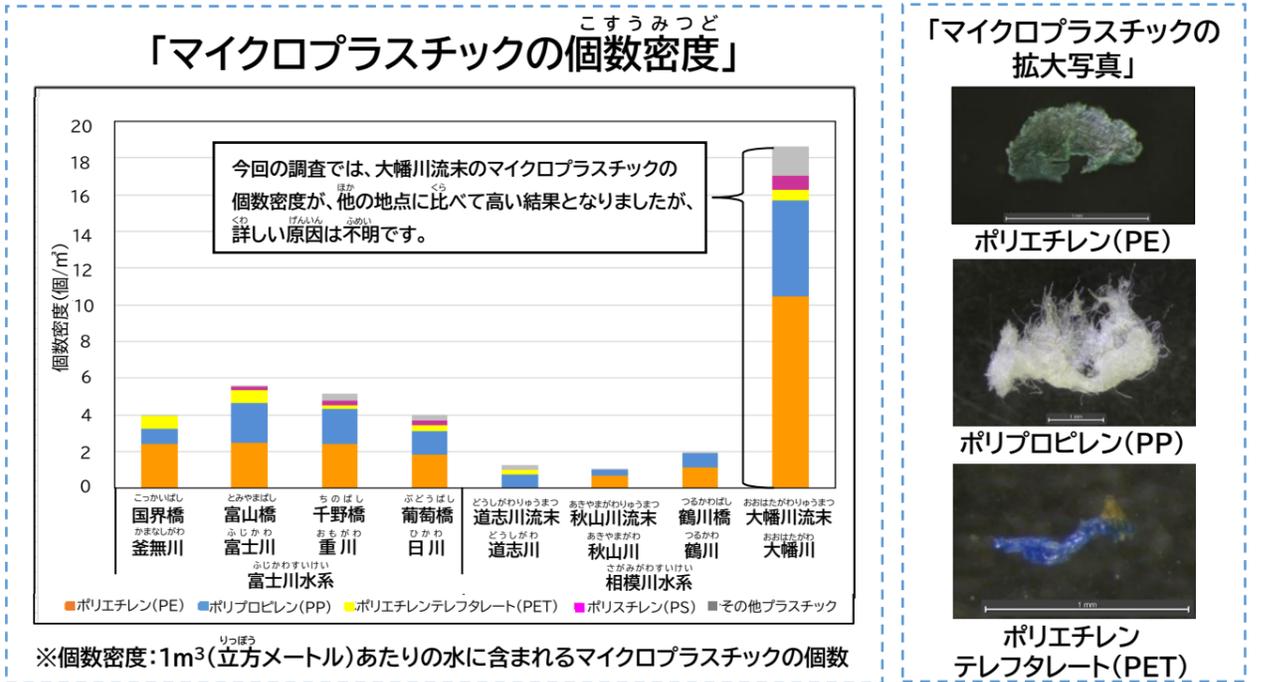
- これまでの調査地点(令和元年度~令和6年度)
- 今年度(令和7年度)の調査地点
- 河川水の流れ

3. マイクロプラスチックの採取・分析方法

採取方法: 川や海の水をプランクトンネットですくい、小さなゴミを含む水を集めます。プランクトンネットは網の目が0.3mm、網の入口の径が30cmのものを使用します。

分析方法: 集めた水から砂や植物などを除いて小さなプラスチックを取り出します。顕微鏡で色や形、大きさ、数を調べて、機械でプラスチックの種類を調べます。

4. マイクロプラスチックの調査結果(令和7年度)



「プラスチックの種類と一般的な用途」

- ポリエチレン(PE): 包装材(袋、食品容器等)、シャンプー容器、各種フィルム、人工芝 等
- ポリプロピレン(PP): 食品容器、繊維、人工芝 等
- ポリエチレンテレフタレート(PET): ペットボトル、繊維、フィルム 等
- ポリスチレン(PS): 食品容器、食品用トレイ 等



5. 調査結果のまとめ

今回調べた山梨県の川からもマイクロプラスチックが見つかりました。また、今回の調査でも、これまでのように2mm以下のマイクロプラスチックの割合が約50~80%でした。みなさんが住んでいる地域の川でも、こうしたマイクロプラスチックが流れているかもしれません。もしそのままにしておくと、川を通じて県外や海まで広がり、生態系に影響を与えてしまいます。

プラスチックゴミを増やさないためには、①「Reduce」ゴミをできるだけ出さないようにする、②「Reuse」繰り返し使う、③「Recycle」使えるものは再利用するの「3R」を意識することが大切です。マイボトルやマイバッグを使うことや、ゴミはゴミ箱へ捨てることもみなさん一人一人にできる大事な行動です。

みなさんの小さな努力が集まれば、川や海、そして未来の暮らしを守ることにつながります。

Q. マイクロプラスチックについて振り返ってみよう！

1. 山梨県は、いつから河川のマイクロプラスチックを調べていますか？ (ヒント) 調査地点を見てください。

2. マイクロプラスチックはどんな種類が見つかりましたか？ (ヒント) 調査結果のグラフを見てください。

3. マイクロプラスチックを調べた場所にはどんなゴミがありましたか？ (ヒント) 調査結果の写真を見てください。

ANSWER 1. 令和元年度から調べています。 2. ポリエチレンやポリプロピレンなど様々な種類のプラスチックが見つかりました。 3. ペットボトルやストローのようなみなさんが普段使用するものが落ちていました。

